

絵の具やインクを使わない 「ねんど版画」



粘土での版づくり



紙に摺りとる



ねんど版画の完成

本ワークショップでは、紙粘土の柔らかな感触を楽しみながら、色や形を自由に变化させて創作できる「ねんど版画」を紹介します。版画には木版画や紙版画など様々な種類がありますが、ねんど版画では身近な素材である粘土を使用します。粘土は未就学児でも扱いやすく安全な素材として広く親しまれており、自由な形づくりが可能です。また、その感触自体を楽しむこともできます。

内容としては、粘土で版をつくり、摺りによって作品を完成させる工程を繰り返すことで、表現の幅を体験的に広がっていきます。一般的な版画ではインクや絵の具で着色してその色を紙に摺りとるため、準備する道具が多く、汚れるリスクがあるなどが課題となりやすいですが、今回は着色に市販のカラー粘土を使用し、その色を直接紙に摺りとる手法を用います。粘土で版を形成した後、あらかじめ湿らせておいた紙を粘土の上に重ねて手でこすり、色を摺りとります。さらに、粘土同士を混ぜて混色を楽しむこともでき、表現の幅が広がります。使用する紙の種類も複数用意し、紙の違いによる摺り上がりの変化も楽しむことができます。版画は準備が大変という意見をよく耳にしますが、本ワークショップでは絵の具をこぼす心配がなく、準備の手間も軽減されることで、実践者は子どもたちの創作活動にじっくりと寄り添うことができます。

最後は参加者の皆さまと制作を振り返り、感想を共有しながら、場所や対象年齢に応じた展開についても話し合いの場をもうけたいと思います。さらなる応用の可能性を共に模索していければと考えていますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

◆開催日時 5月31日(土) 10:30～12:00

6月1日(日) 10:30～12:00

◆場 所 永国寺キャンパス 教育研究棟 A106

◆対 象 者 幼児から大人まで

(小学校低学年以下の子どもは大人同伴でご参加ください)

◆定 員 20名程度(事前申し込み)

◆参 加 費 無料

屋宜 久美子 (Kumiko YAGI)

愛媛大学教育学部 講師

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。専門は美術教育(絵画)。著書(共著)に『実践につながる新しい幼児教育の方法と技術』、『美術と教育のあいだ』など。絵画作品の創作・発表活動や、地域の環境資源を活用したワークショップにも取り組んでいる。

本村 佳奈子 (Kanakō MOTOMURA)

沖縄県立芸術大学美術工芸学部絵画専攻 非常勤講師

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群芸術学学位プログラム(博士後期課程)在籍。水性木版画を主とした創作研究を行うとともに、未就学児親子、特別支援学校などで版表現の魅力とその楽しさを伝えるワークショップの活動を行なっている。